



2015年7月30日

株式会社リクルート北海道じゃらん

じゃらん北海道版旅行者動向調査2015

- 1年間（2014年4月～2015年3月）に行った旅行先1位は「札幌」、2位「定山溪温泉」、3位「小樽・朝里川温泉」「函館・湯の川温泉」
 - 満足した旅行先1位は「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」
 - もう一度行きたい旅行先1位は「天人峡・旭岳温泉・東川」

株式会社リクルート北海道じゃらん（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：佐藤 守）は、この度、全道1,244人の宿泊旅行者を対象に、「じゃらん北海道版旅行者動向調査2015」を実施しました。今年から開始したこの調査は、北海道在住者の観光などを目的とした宿泊を伴う北海道旅行の実態を把握するために行っている調査で、出張・帰省・修学旅行などを除いたマーケットの動向を調べています。2014年度（2014年4月～2015年3月）における旅行実態について、行先や目的、旅行費用などを調査しました。主な結果は以下の通りです。

<TOPICS>

※宿泊旅行・・・北海道内での宿泊を伴う旅行で、出張・帰省・修学旅行などを除く

【1年間に行った北海道旅行の回数・総泊数】・・・3P

2014年度の宿泊を伴う北海道在住者における道内旅行の回数は2.35回、総泊数は2.81泊。

【1年間で訪れた北海道の宿泊旅行・日帰り旅行先】・・・3P

1位は「札幌」、2位「定山溪温泉」、3位「小樽・朝里川温泉」「函館・湯の川温泉」。「札幌」への旅行は、1年間で回答者全体の47%に及ぶ。「定山溪温泉」への旅行者は7割が「札幌」居住者。

【同行者と旅行時期】・・・4P

「配偶者」が最も多く54%、次いで「未就学児」16%、「親」15%と続く。札幌と釧路では「一人旅」が約2割を占める。旅行時期は「8月」が18%で最多。「3月」「9月」がほぼ同じ割合で続く。旭川では「8月」が約3割を占める。

【宿泊旅行にかけられた費用】・・・5P

1回あたりの平均費用は23,640円。宿泊費8,910円、交通費5,350円、現地小遣い9,380円。エリア別では「札幌」への旅行が32,910円と最多。特に現地小遣いが18,400円と高額になっている。

【宿泊エリアでの消費行動】・・・5～6P

48%が「午後」にエリアに到着。32%が「昼食」後に宿泊施設へチェックインしている。また、63%が「午前」にエリアから出発。チェックアウト後には29%が「何もなかった」。

【宿泊旅行時の目的】・・・7P

「温泉や露天風呂」「宿でのんびり過ごす」「夕食に地元の美味しいものを食べる」が3大目的に。札幌への旅行者は7割超が「買い物・アウトレット」目的。旭川は「テーマパーク」と「買い物・アウトレット」が4割を超え2つの目的に集中。

【旅行先を選んだ理由】・・・8P

「特定の観光地・観光スポットに興味」「良い宿・ホテル」で選ぶ人が全体の5割以上。

【旅行後の満足度とリピート意向】・・・9P

総合的な満足度は北海道全体で83%、リピート意向は86%。満足度が90%以上の旅行先は、「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」「余市・仁木・キロロ」「積丹・岩内」「天人峡・旭岳温泉・東川」の4エリア。リピート意向が90%以上は、「天人峡・旭岳温泉・東川」「十勝川温泉」「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」「ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極」「阿寒湖温泉」「登別温泉」「札幌」の7エリア。

※総合的な満足度…「とても満足」「やや満足」と回答した人の割合
 ※リピート意向…もう一度宿泊旅行に出かけたい旅行先だと「そう思う」「やや思う」と回答した人の割合

【本件に関するお問い合わせ先】

<http://www.recruit-hokkaido-jalan.jp/contact>

調査概要とプロフィール

【調査概要】

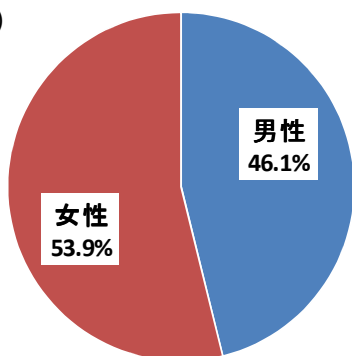
- 調査名： じゃらん北海道版旅行者動向調査2015
- 調査目的： 北海道在住の北海道旅行実施者に対して、宿泊旅行の動向を知るために実施した。
- 調査方法： インターネットによる調査
- 調査時期： 2015年4月16日（木）～20日（月）
- 調査対象： 札幌・旭川・函館・帯広・釧路・北見在住の20～69歳の男女（株式会社マクロミルの登録モニター）
昨年度1年間（2014年4月～2015年3月）に北海道宿泊旅行をしたと回答した1,244名
- 調査内容： 昨年度1年間（2014年4月～2015年3月）に実施した北海道旅行（出張・帰省・修学旅行などを除く）の行き先（全道54エリア）について。
また、1人最大3回までの宿泊旅行について、具体的な内容を調査した。

【対象旅行先】

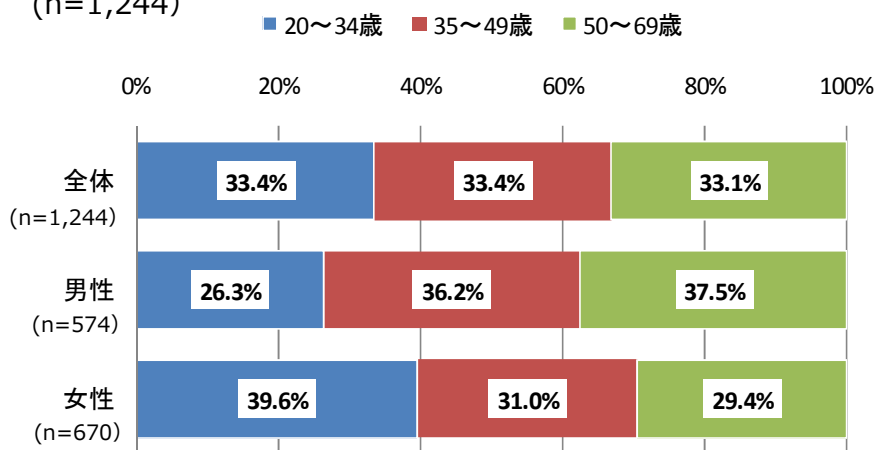
振興局	エリア名	振興局	エリア名	振興局	エリア名
1 石狩	札幌	22 空知	岩見沢・美唄・三笠	43 上川	トマム・占冠
2 石狩	定山溪温泉	23 空知	栗山・長沼・由仁・夕張	44 上川	旭川
3 石狩	江別・恵庭・北広島	24 空知	沼田・北竜・秩父別	45 上川	上川・層雲峡温泉
4 石狩	支笏湖・千歳	25 空知	深川・滝川・砂川・芦別	46 上川	天人峡・旭岳温泉・東川
5 石狩	石狩・当別・新篠津	26 十勝	士幌・上士幌・陸別・足寄	47 上川	美瑛・白金温泉
6 後志	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	27 十勝	十勝川温泉	48 上川	富良野
7 後志	小樽・朝里川温泉	28 十勝	新得・鹿追・然別湖・清水・芽室	49 上川	名寄・士別・剣淵
8 後志	積丹・岩内	29 十勝	帯広	50 宗谷・留萌	羽幌・天売・焼尻
9 後志	余市・仁木・キロロ	30 十勝	池田・幕別・豊頃・浦幌	51 宗谷・留萌	稚内
10 胆振・日高	伊達・北湯沢温泉・壮瞥	31 十勝	中札内・更別・大樹・広尾	52 宗谷・留萌	利尻
11 胆振・日高	室蘭	32 釧路・根室	阿寒湖温泉	53 宗谷・留萌	留萌・増毛
12 胆振・日高	登別温泉	33 釧路・根室	釧路	54 宗谷・留萌	礼文
13 胆振・日高	洞爺湖温泉	34 釧路・根室	厚岸・浜中		
14 胆振・日高	苫小牧・白老	35 釧路・根室	根室・別海・中標津		
15 胆振・日高	日高・えりも	36 釧路・根室	川湯・屈斜路		
16 渡島・檜山	奥尻	37 釧路・根室	鶴居・白糠・標茶		
17 渡島・檜山	松前・江差	38 オホーツク	知床		
18 渡島・檜山	大沼・七飯・森・鹿部	39 オホーツク	紋別・滝上		
19 渡島・檜山	函館・湯の川温泉	40 オホーツク	湧別・遠軽・サロマ		
20 渡島・檜山	八雲・長万部	41 オホーツク	北見		
21 渡島・檜山	北斗・木古内・知内・福島	42 オホーツク	網走・大空・美幌		

【回答者プロフィール】 (n=1,244)

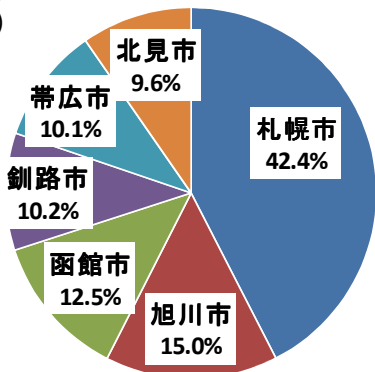
○性別
(n=1,244)



○年代
(n=1,244)



○居住地域
(n=1,244)



1年間の北海道旅行の回数は、2.35回、総泊数は2.81泊。

1年間に行った宿泊旅行・日帰り旅行先は1位「札幌」、2位「定山溪温泉」、3位「小樽・朝里川温泉」「函館・湯の川温泉」。「定山溪温泉」への旅行者は、7割が「札幌」からとなっている。

1年間に行った宿泊旅行・日帰り旅行先として上位10エリアを見ると、「札幌」を含めいずれも「札幌」からの旅行者の割合が大きい。「札幌」からの旅行者以外を見ると、「札幌」への旅行者は「函館」からが19%、「函館・湯の川温泉」への旅行者は、同じく「函館」からが17%、「帯広」へは「釧路」からが18%、「北見」からが15%。「旭川」へは「北見」からが21%、「帯広」からが16%、「釧路」へは「帯広」からが22%、「北見」からが17%であった。また、1年間で行った旅行先で特に印象的なエリアとしては、こちらも1位「札幌」、2位「定山溪温泉」と続き、3位は「函館・湯の川温泉」となった。「小樽・朝里川温泉」「登別温泉」「阿寒湖温泉」「洞爺湖温泉」「上川・層雲峡温泉」もランクインし、上位10エリアは温泉地が多く占めている。

【1年間に行った宿泊を伴う国内旅行／北海道旅行の回数・総泊数（単一回答）】

2014年4月～2015年3月に行った「宿泊を伴う旅行（車中泊、キャンプも含む、出張や帰省、修学旅行等は除く）」について、以下の項目にあてはまるものを回答（単一回答）

	全体	平均回数・泊数
1年間に行った宿泊を伴う国内旅行の回数(回)	1244	2.75
1年間に行った宿泊を伴う国内旅行の総泊数(泊)	1244	3.48
1年間に行った宿泊を伴う北海道旅行の回数(回)	1244	2.35
1年間に行った宿泊を伴う北海道旅行の総泊数(泊)	1244	2.81

【1年間で訪れた北海道内の宿泊旅行・日帰り旅行先（複数回答）】

2014年4月～2015年3月で以下の北海道の地域の中で、「宿泊を伴う北海道旅行」「日帰りのお出かけ」いずれかで訪れたエリアを全て選択（いくつでも）※居住地の数値は、旅行先を訪れた人の構成比

n=1,244・延べ回答数=5,034件

順位	旅行先エリア	%
1	札幌	47.3
2	定山溪温泉	23.5
3	小樽・朝里川温泉	18.0
3	函館・湯の川温泉	18.0
5	帯広	16.2
6	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	14.8
7	支笏湖・千歳	12.2
8	旭川	12.1
9	登別温泉	11.9
10	釧路	10.9

居住地						合計(%)
札幌市	旭川市	函館市	帯広市	釧路市	北見市	
22.6	16.0	18.5	14.9	13.9	14.1	100
70.5	7.9	7.5	5.5	5.1	3.4	100
56.3	12.5	11.6	6.7	7.1	5.8	100
58.5	8.5	16.5	7.1	6.7	2.7	100
40.6	9.9	5.4	11.4	17.8	14.9	100
62.0	3.8	17.4	7.1	2.2	7.6	100
57.2	7.2	13.8	7.9	7.9	5.9	100
37.3	10.0	8.0	16.0	7.3	21.3	100
58.8	8.8	14.9	6.8	6.1	4.7	100
40.7	5.2	4.4	21.5	11.1	17.0	100

【印象的な旅行先】

3エリア以上で宿泊旅行をされた方は、特に印象的な3エリアを印象的だった順番に3つまで回答

※以下、選んだ特に印象的な3エリアについて回答

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>

順位	旅行先エリア	%
1	札幌	35.6
2	定山溪温泉	16.6
3	函館・湯の川温泉	14.5
4	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	9.9
5	小樽・朝里川温泉	9.8
6	登別温泉	8.5
7	帯広	8.2
8	阿寒湖温泉	7.7
9	洞爺湖温泉	6.6
10	上川・層雲峡温泉	5.9

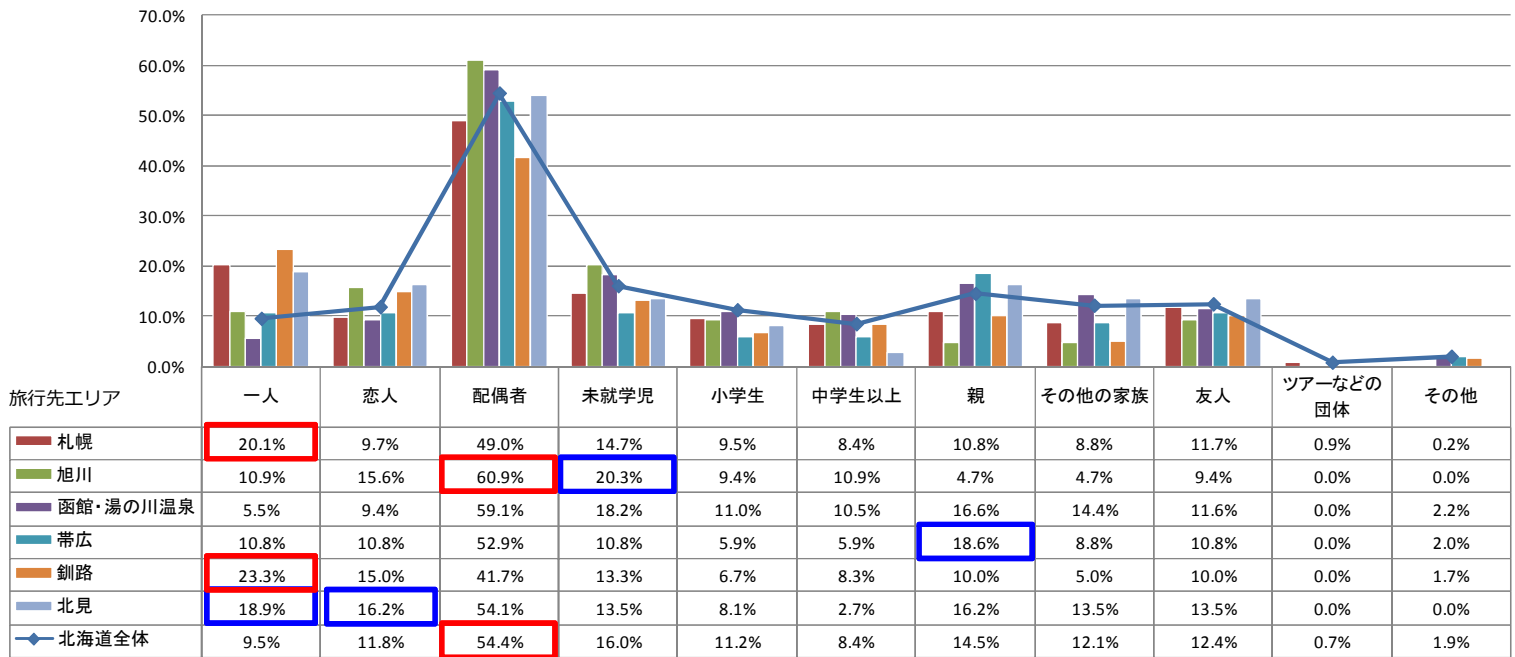
「配偶者」が54%、札幌と釧路では「一人旅」が約2割 旅行時期は「8月」が最多で、旭川では約3割に

同行者は「配偶者」が最も多く、「未就学児」16%、「親」15%と続く。
旅行時期は「8月」が18%で最多、次いで「3月」と「9月」がほぼ同じに。

旅行先エリアごとに同行者を見ると、いずれも「配偶者」の割合が高いが、札幌と釧路では「一人」が2割以上、旭川は「未就学児」が約2割となった。帯広は「親」が19%でやや高め。
旅行時期は、札幌が「3月」が最も割合が高くなった。旭川は「8月」が約3割と全体と比較して突出して高い。また、函館・湯の川温泉が「8月」に次いで「5月」が18%と高くなっている。釧路は「8月」と「1月」が15%と同じ割合に。北見は「5月」と「3月」が2割を超え、全体と比較し非常に高くなっている。

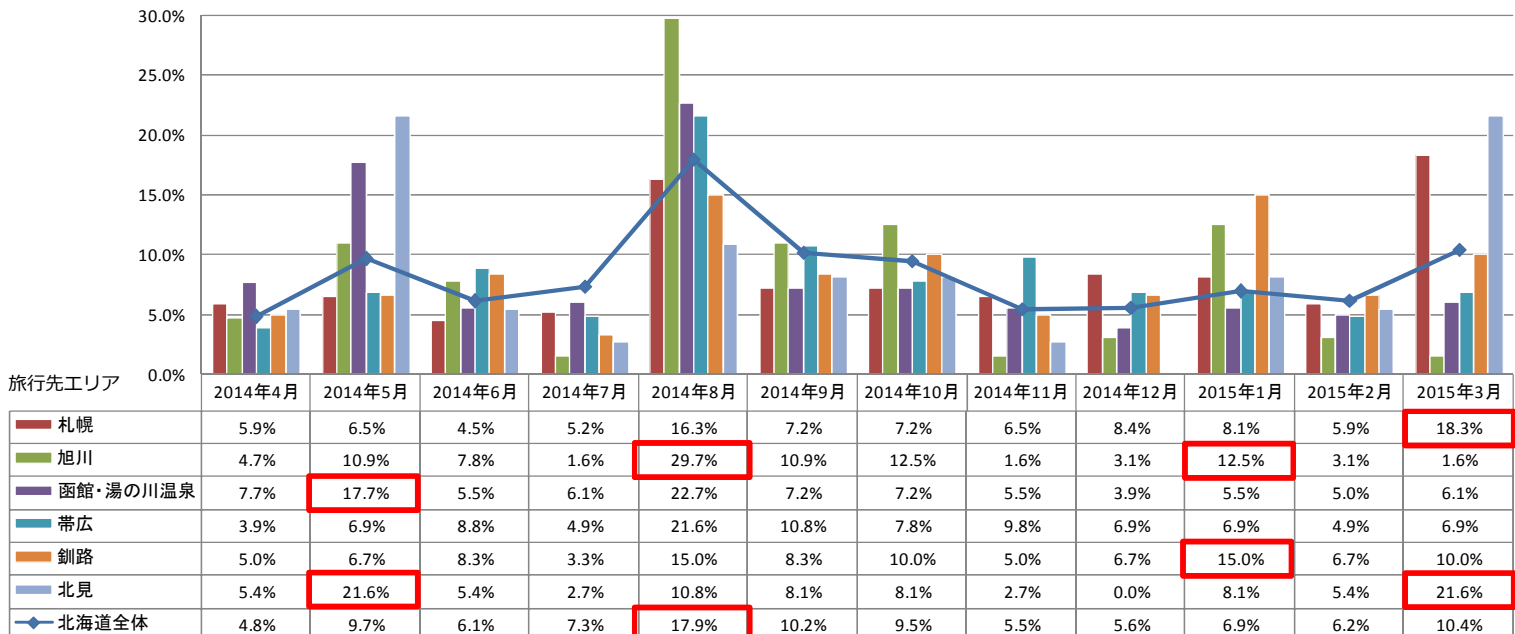
【宿泊旅行の同行者（複数回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件・延べ回答数=3,755件>



【宿泊旅行の時期（単一回答）】

エリアへの旅行の時期について、出発した月としてあてはまるものをそれぞれひとつずつ回答
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>



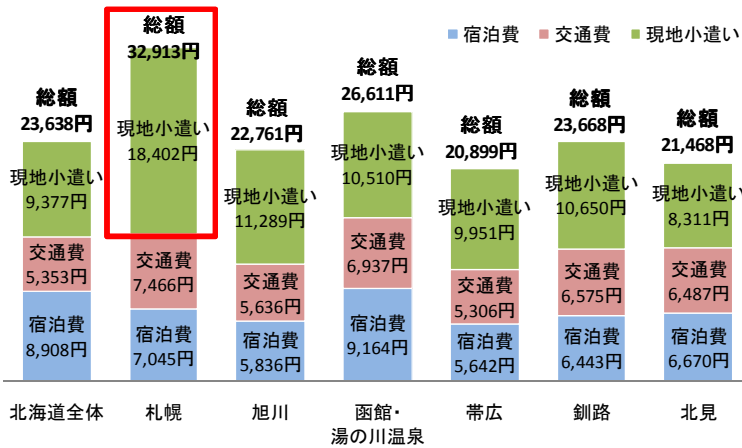
費用は札幌への旅行が3.3万円で最多 「午後」にエリアに到着し、「昼食」後にチェックイン

費用は、札幌での現地小遣いが1.8万円で最多。それに比例し総額も高い。宿泊エリアへの到着は「午後」から「夕方」が多く、チェックイン前には「昼食」「何もしなかった」「観光施設に行く・遊ぶ」が続く。

宿泊旅行1回あたりの費用は、平均で23,640円。宿泊費8,910円、交通費5,350円、現地小遣い9,380円。旅行先エリア別で見ると宿泊費は「函館・湯の川温泉」が、交通費、現地小遣いは「札幌」が高い。しかし、「札幌」での小遣いは、平均金額+5,000円の層が26%、-5,000円の層が53%存在し大きく二分されている。宿泊エリアへの到着時間は「午後」が最多で、ほぼどのエリアも同じ傾向だが、札幌や旭川は「午前」が2割以上、釧路では「夜」が2割以上存在している。エリア到着後チェックイン前に、帯広では「昼食を食べる」が46%と非常に高く、「喫茶・スイーツを食べる」も24%と全体に比較し高い。また、旭川、函館・湯の川温泉では「観光施設に行く・遊ぶ」が4割近くと高くなっている。また、釧路では「夕食を食べる」が3割存在している。

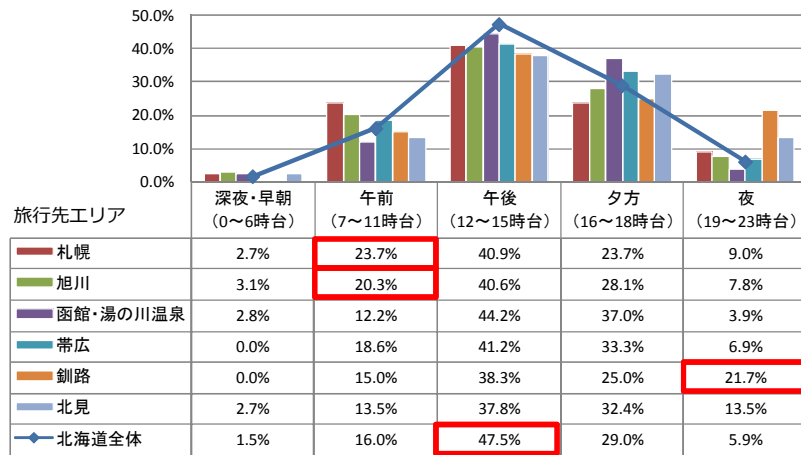
【宿泊旅行1回あたりにかかった費用（数値回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>
※金額については、一の位までの四捨五入で示しているため、合計が合わない場合がある。



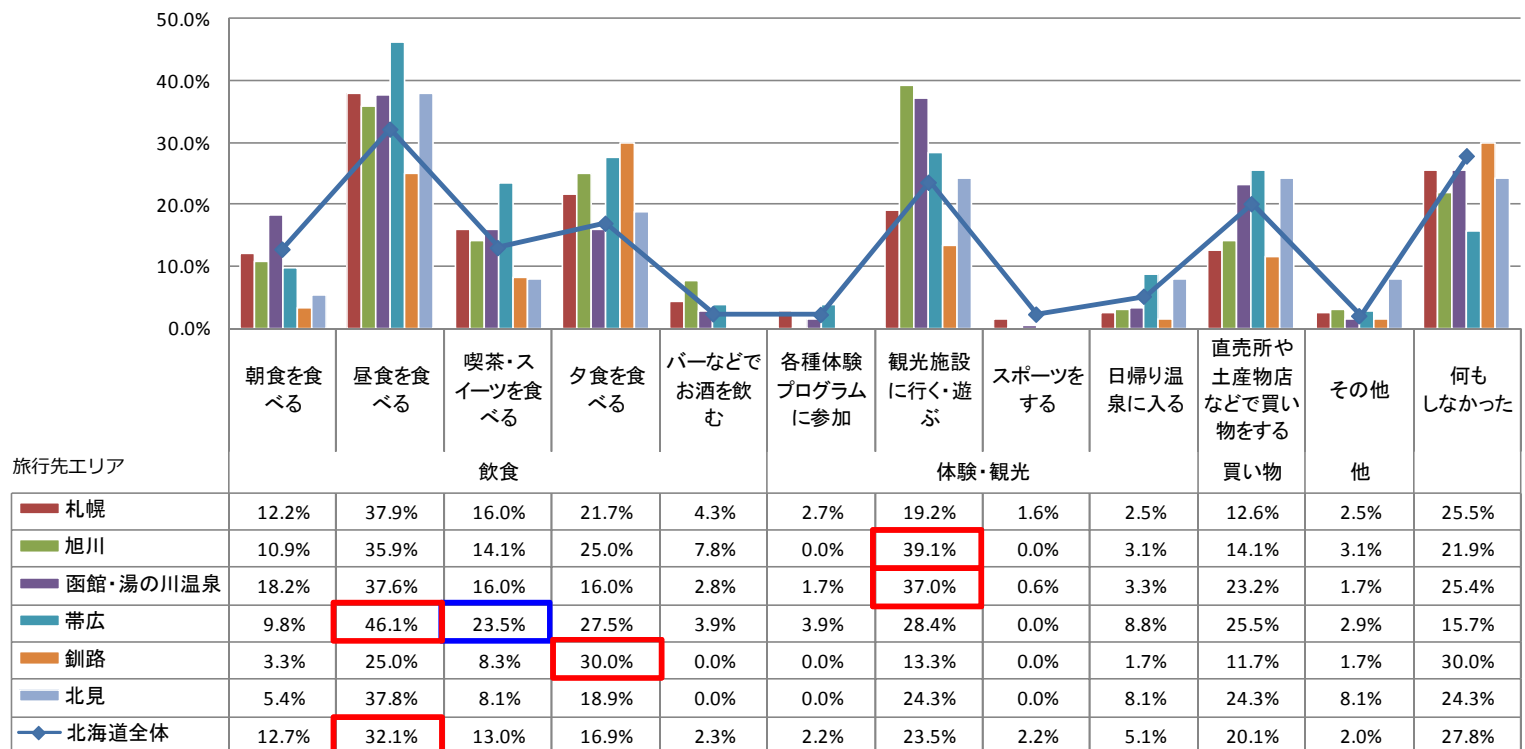
【エリアに到着した時間（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>



【エリア到着後、チェックイン前の消費行動（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行において、1日目に宿泊エリアに到着してから宿泊施設にチェックインするまでに行ったことすべてを選択（それぞれいくつでも）
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件・延べ回答数=3,932件>



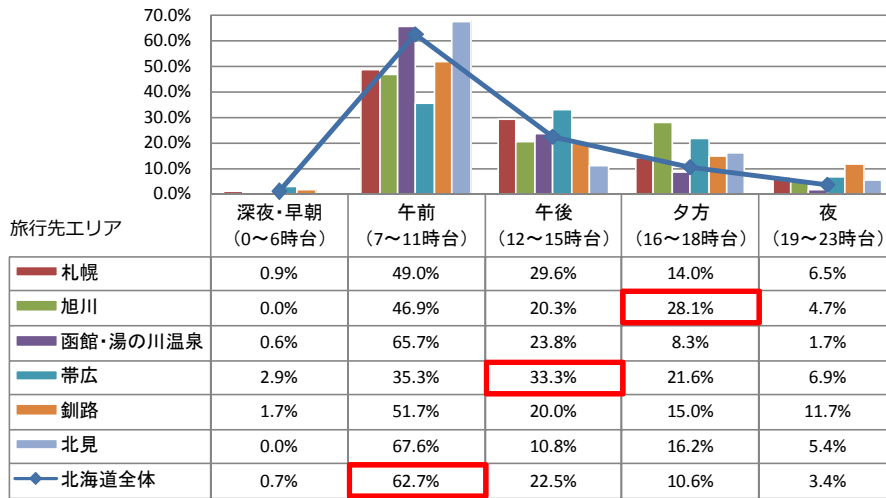
6割超が「午前」にエリアを出発 チェックアウト後は「何もしなかった」が約3割

63%が「午前」に出発だが、帯広では35%にとどまり、「午後」出発も33%存在。チェックアウト後は「何もしなかった」が最多だが、「直売所や土産物店などで買い物をする」「昼食を食べる」が僅差で続く。

帯広以外では、旭川が他に比較し「午前」出発が47%と低く、「夕方」出発が28%と高い。チェックアウト後、エリアを出発する前には、北見が「何もしなかった」が41%と最多。次いで「昼食を食べる」も32%と全体より多い。旭川では「観光施設に行く・遊ぶ」が30%、「朝食を食べる」も22%と高めに。函館・湯の川温泉も「朝食を食べる」が22%、「昼食を食べる」が35%、「直売所や土産物店などで買い物をする」が33%と多くなっている。帯広では「昼食を食べる」が36%、「喫茶・スイーツを食べる」が23%と全体に比較し突出している。釧路では「直売所や土産物店などで買い物をする」が35%と最も高い。

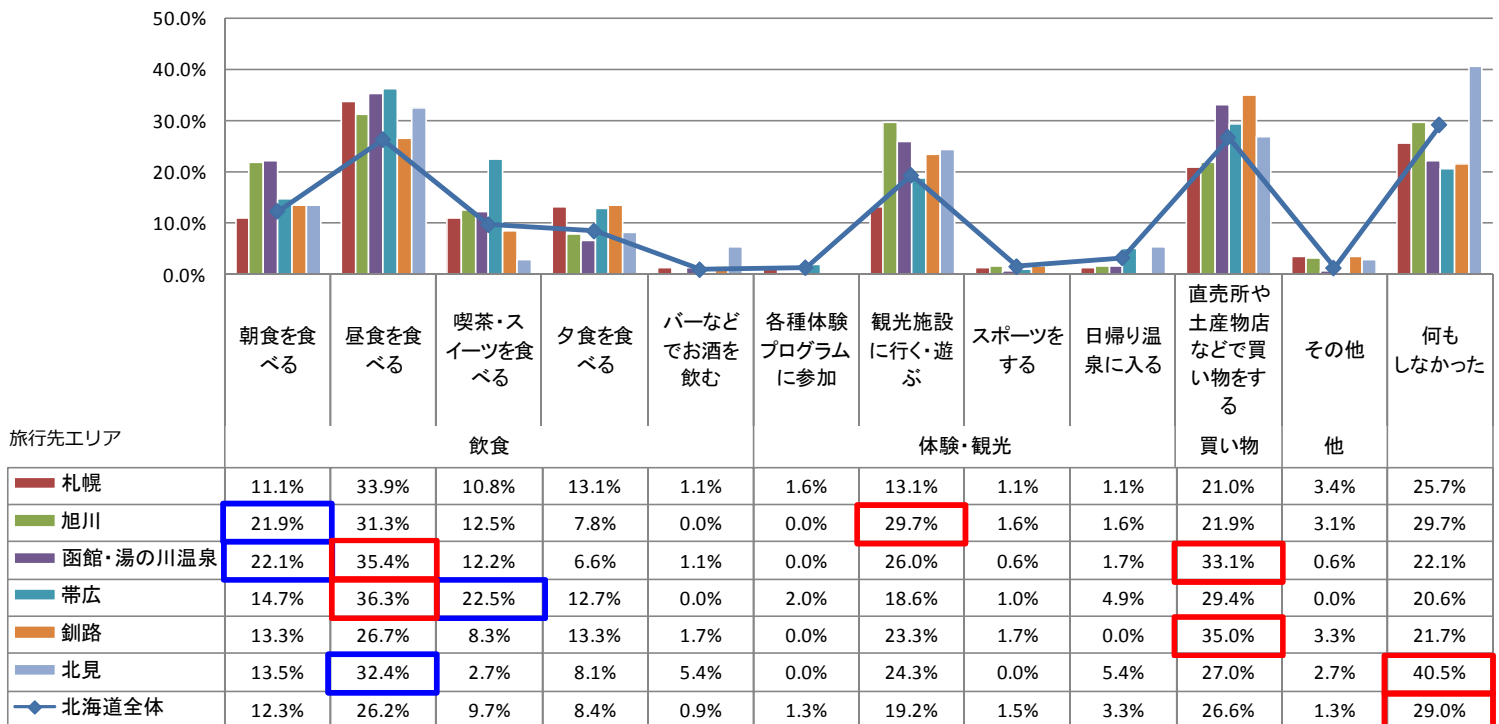
【エリアから出た時間（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>



【チェックアウト後、宿泊エリアを出るまでの消費行動（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行において、最終日に宿泊施設をチェックアウトした後、宿泊エリアから外に出るまでに行ったことすべてを選択（それぞれいくつでも）
<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件・延べ回答数=3,429件>



「温泉や露天風呂」「宿でのんびり過ごす」「夕食に地元の美味しいものを食べる」が3大目的に

札幌は7割以上が「買い物・アウトレット」で突出している。旭川は「テーマパーク」と「買い物・アウトレット」に集中。函館・湯の川温泉は半数以上が「温泉や露天風呂」、帯広は「夕食」「昼食」「スイーツ」の食分野が全体に比較し非常に高い。

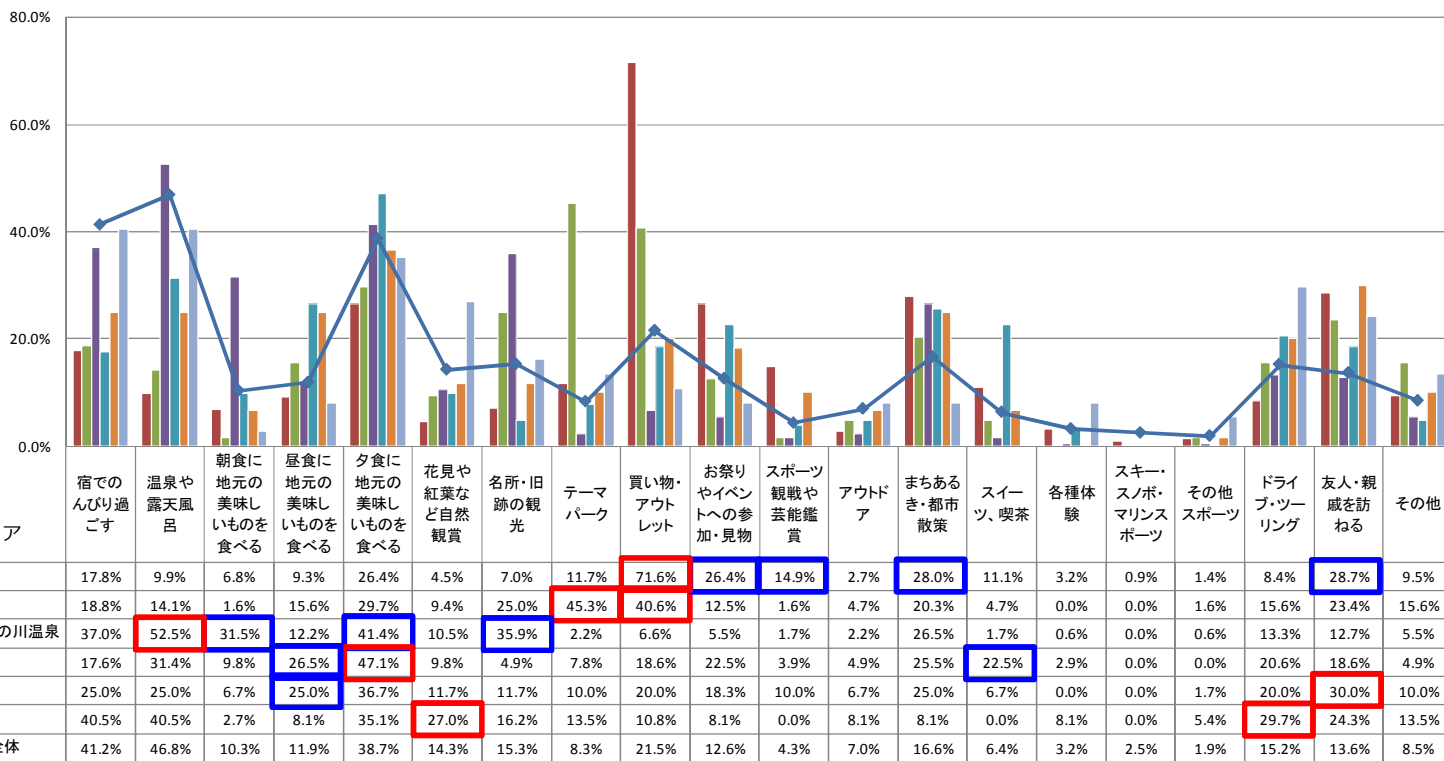
札幌は「買い物」以外に、「友人・親戚を訪ねる」「まちあるき・都市散策」「お祭りやイベント」「スポーツ観戦や芸能鑑賞」も全体に比較し高くなっている。函館・湯の川温泉は「温泉」以外に、「夕食」「朝食」「名所・旧跡の観光」が高い。釧路では、「友人・親戚を訪ねる」が3割と全体に比較し非常に高い。また、「昼食」も高くなっている。北見は「ドライブ・ツーリング」が3割、「花見や紅葉など自然観賞」も27%と高くなっている。

【宿泊旅行時の目的（複数回答）】

エリアへの宿泊旅行の目的について、エリアごとにTOP3までを順番に選択（それぞれひとつずつ）

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件・延べ回答数=7,365件>

※エリアごとに目的のTOP3までを合計し、旅行件数で割った数値



「特定の観光地・観光スポットに興味」 「良い宿・ホテル」で選ぶ人が全体の5割以上

61%が「特定の観光地・観光スポットに興味」、50%が「良い宿・ホテル」、続いて47%が「魅力的な温泉」で旅行先を選んでいる。
函館では「特定の観光地・観光スポットに興味」が7割以上に。

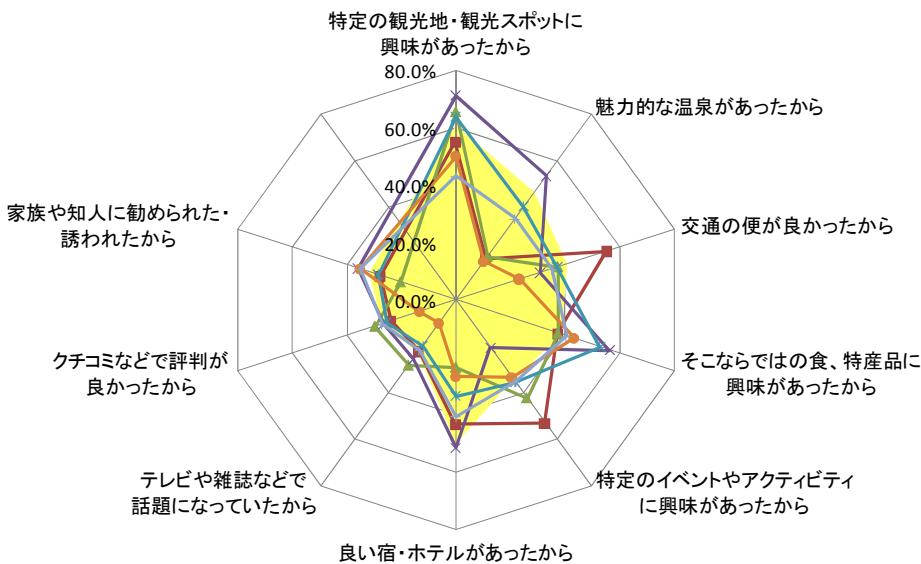
札幌では「交通の便の良さ」が55%、「特定のイベントやアクティビティに興味」が53%と全体に比較し突出している。旭川は「特定の観光地・観光スポットに興味」が66%と全体よりやや高く、「特定のイベントやアクティビティに興味」が42%と高くなっている。函館・湯の川温泉は「特定の観光地・観光スポットに興味」以外に、「そこならではの食、特産品に興味」が56%、「魅力的な温泉」も54%と高い。帯広も函館・湯の川温泉に並び「そこならではの食、特産品に興味」が53%と高い。

他に検討した旅行先については、「検討した」が44%、「検討しなかった」が56%。函館・湯の川温泉、釧路への旅行者は、他を「検討しなかった」が7割と高くなっている。検討しなかったエリアのランキングを見ると、最も他のエリアを検討しなかった旅行先は、稚内で約9割に上る。

【この旅行先を選んだ理由（単一回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件>
※「当てはまる」「やや当てはまる」と答えた人の割合

■北海道全体 ■札幌 ■旭川 ■函館・湯の川温泉 ■帯広 ■釧路 ■北見



旅行先エリア	ハード資源			ソフト資源			情報接点			他
	特定の観光地・観光スポットに興味があったから	魅力的な温泉があったから	交通の便が良かったから	そこならではの食、特産品に興味があったから	特定のイベントやアクティビティに興味があったから	良い宿・ホテルがあったから	テレビや雑誌などで話題になっていたから	クチコミなどで評判が良かったから	家族や知人に勧められた・誘われたから	その他
北海道全体	61.1%	46.6%	40.8%	38.8%	33.9%	50.0%	22.4%	27.3%	31.8%	7.7%
札幌	55.1%	17.8%	55.3%	37.5%	52.8%	43.1%	21.9%	23.7%	27.5%	9.5%
旭川	65.6%	18.8%	37.5%	37.5%	42.2%	23.4%	28.1%	29.7%	20.3%	14.1%
函館・湯の川温泉	71.3%	53.6%	30.9%	56.4%	20.4%	51.4%	25.4%	26.5%	35.9%	8.3%
帯広	63.7%	40.2%	37.3%	52.9%	35.3%	33.3%	19.6%	25.5%	28.4%	6.9%
釧路	50.0%	16.7%	23.3%	43.3%	33.3%	26.7%	10.0%	13.3%	35.0%	6.7%
北見	43.2%	35.1%	35.1%	40.5%	35.1%	40.5%	21.6%	27.0%	35.1%	13.5%

【他の旅行先の検討状況（複数回答）】

<ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件・延べ回答数=3,800件>
※他の旅行先を検討した・・・他に検討した旅行先として、いずれかの地域を回答した人の割合

旅行先エリア	検討しなかった・当てはまる旅行先がなかった	検討した
北海道全体	55.6%	44.4%
札幌	54.9%	45.1%
旭川	62.5%	37.5%
函館・湯の川温泉	69.6%	30.4%
帯広	67.6%	32.4%
釧路	71.7%	28.3%
北見	51.4%	48.6%

◆他の旅行先を検討しなかった割合の高いエリアランキングTOP 5

※集計サンプル15以上のエリアが対象

順位	旅行先エリア	検討しなかった・当てはまる旅行先がなかった	検討した
1	稚内	88.2%	11.8%
2	苫小牧・白老	81.3%	18.8%
3	根室・別海・中標津	72.2%	27.8%
4	釧路	71.7%	28.3%
5	函館・湯の川温泉	69.6%	30.4%

満足度は「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」 リピート意向は「天人峡・旭岳温泉・東川」が1位

総合的な満足度は北海道全体で83%、リピート意向は86%。

「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」と「天人峡・旭岳温泉・東川」が満足度・リピート意向とも高くなっている。

函館・湯の川温泉、帯広では、「地元ならではの美味しい食べ物の多さ」が8割を超え、満足度が非常に高い。

満足度が9割以上の旅行先は、「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」「余市・仁木・キロロ」「積丹・岩内」「天人峡・旭岳温泉・東川」の4エリア。リピート意向が9割以上の旅行先は、「天人峡・旭岳温泉・東川」「十勝川温泉」「伊達・北湯沢温泉・壮瞥」「ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極」「阿寒湖温泉」「登別温泉」「札幌」の7エリア。

テーマ別の満足度は、函館・湯の川温泉、帯広で「地元ならではの美味しい食べ物の多さ」「魅力ある特産品や土産物の多さ」が非常に高くなっている。「子どもが楽しめるスポットや施設・体験の多さ」は、旭川が38%と高い。「若者が楽しめるスポットや施設・体験の多さ」は札幌が高くなっている。

【総合的な満足度（単一回答）】

旅行先としての総合的な満足度（それぞれひとつずつ）
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件＞

※集計サンプル15以上の
エリアが対象
※総合的な満足度=
「とても満足」「やや満足」
と回答した人の割合

順位	旅行先エリア	総合的な満足度
北海道全体		
1	伊達・北湯沢温泉・壮瞥	96.4%
2	余市・仁木・キロロ	92.3%
3	積丹・岩内	92.0%
4	天人峡・旭岳温泉・東川	90.0%
5	登別温泉	88.7%
6	函館・湯の川温泉	87.8%
7	小樽・朝里川温泉	87.7%
8	帯広	86.3%
9	網走・大空・美幌	85.7%
9	美瑛・白金温泉	85.7%
13	札幌	84.9%
21	北見	78.4%
25	旭川	73.4%
28	釧路	70.0%

【リピート意向（単一回答）】

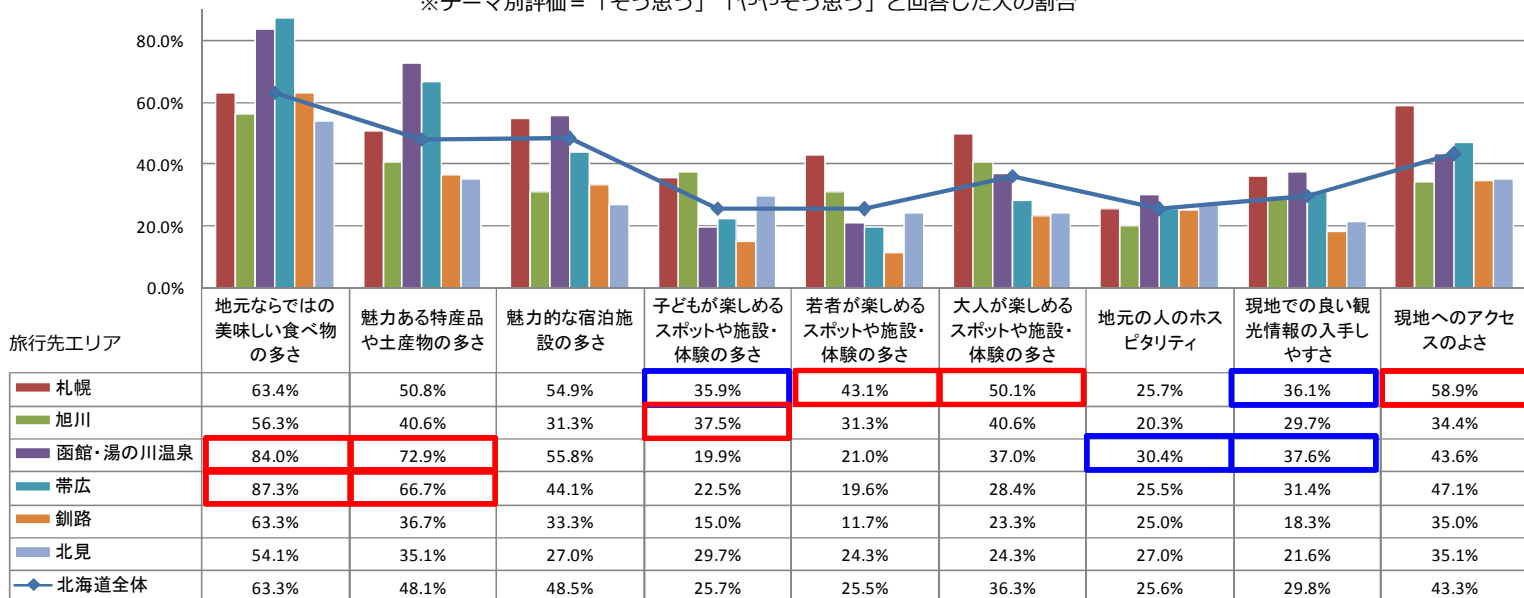
もう一度宿泊旅行で出かけたがたい旅行先か（それぞれひとつずつ）
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件＞

※集計サンプル15以上の
エリアが対象
※リピート意向=
「そう思う」「ややそう思う」
と回答した人の割合

順位	旅行先エリア	リピート意向
北海道全体		
1	天人峡・旭岳温泉・東川	95.0%
2	十勝川温泉	94.4%
3	伊達・北湯沢温泉・壮瞥	92.9%
4	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	92.7%
5	阿寒湖温泉	90.6%
6	登別温泉	90.6%
7	札幌	90.3%
8	小樽・朝里川温泉	89.3%
9	函館・湯の川温泉	89.0%
10	網走・大空・美幌	88.1%
15	帯広	85.3%
18	旭川	82.8%
26	北見	75.7%
27	釧路	73.3%

【テーマ別評価（単一回答）】

旅行先としての項目別の評価（それぞれひとつずつ）
＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数=2,455件＞
※テーマ別評価=「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合



「トナムエリア」「ニセコエリア」は、子ども・若者・大人 それぞれが楽しめるスポットとして満足度が高い

「ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極」が「地元の人へのホスピタリティ」「子どもが楽しめるスポット」など5テーマで上位5位入り。「富良野」も「現地での良い観光情報の入手」「魅力ある特産品や土産物の多さ」など5テーマでランクイン。

「小樽・朝里川温泉」も「魅力ある特産品や土産物の多さ」「地元ならではの美味しい食べ物の多さ」など4テーマで上位に入った。「トナム・占冠」は、子ども・若者・大人が楽しめるスポットとして3テーマでトップを独占。「魅力的な宿泊施設の多さ」では、「阿寒湖温泉」の満足度が非常に高い。

【テーマ別評価エリアランキング（単一回答）】

＜ベース：1人あたり最大3回までの旅行件数＝2,455件＞

※集計サンプル15以上のエリアが対象

※テーマ別評価＝「そう思う」「ややそう思う」と回答した人の割合

順位	地元ならではの美味しい食べ物の多さ	満足度
	北海道全体	63.3%
1	帯広	87.3%
2	函館・湯の川温泉	84.0%
3	小樽・朝里川温泉	82.0%
4	知床	75.7%
5	十勝川温泉	72.2%

順位	現地へのアクセスのよさ	満足度
	北海道全体	43.3%
1	札幌	58.9%
2	定山溪温泉	53.6%
3	小樽・朝里川温泉	53.3%
4	帯広	47.1%
5	支笏湖・千歳	45.8%

順位	子どもが楽しめるスポットや施設・体験の多さ	満足度
	北海道全体	25.7%
1	トナム・占冠	42.1%
2	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	38.2%
3	旭川	37.5%
4	札幌	35.9%
5	伊達・北湯沢温泉・杜警	35.7%

順位	魅力的な宿泊施設の多さ	満足度
	北海道全体	48.5%
1	阿寒湖温泉	74.0%
2	登別温泉	67.0%
3	定山溪温泉	61.8%
4	知床	61.4%
5	美瑛・白金温泉	59.5%

順位	大人が楽しめるスポットや施設・体験の多さ	満足度
	北海道全体	36.3%
1	トナム・占冠	63.2%
2	札幌	50.1%
3	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	43.9%
4	富良野	43.4%
5	小樽・朝里川温泉	41.8%

順位	地元の人へのホスピタリティ	満足度
	北海道全体	25.6%
1	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	40.7%
2	知床	37.1%
3	富良野	35.8%
4	日高・えりも	33.3%
5	阿寒湖温泉	31.3%

順位	魅力ある特産品や土産物の多さ	満足度
	北海道全体	48.1%
1	小樽・朝里川温泉	73.0%
2	函館・湯の川温泉	72.9%
3	帯広	66.7%
4	富良野	60.4%
5	稚内	58.8%

順位	現地での良い観光情報の入手しやすさ	満足度
	北海道全体	29.8%
1	富良野	49.1%
2	天人峡・旭岳温泉・東川	40.0%
3	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	38.2%
4	川湯・屈斜路	37.9%
5	函館・湯の川温泉	37.6%

順位	若者が楽しめるスポットや施設・体験の多さ	満足度
	北海道全体	25.5%
1	トナム・占冠	47.4%
2	札幌	43.1%
3	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	41.5%
4	富良野	34.0%
5	旭川	31.3%

居住地別に見る1年間で訪れた北海道内の 宿泊旅行・日帰り旅行先ランキング

2014年4月～2015年3月で以下の北海道の地域の中で、「宿泊を伴う北海道旅行」「日帰りのお出かけ」いずれかで訪れたエリアを全て選択（いくつでも）

【札幌居住者】（n=528）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	定山溪温泉	30.9%
2	札幌	25.2%
3	函館・湯の川温泉	24.8%
4	小樽・朝里川温泉	23.9%
5	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	21.6%

【旭川居住者】（n=187）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	50.3%
2	上川・層雲峡温泉	27.8%
3	美瑛・白金温泉	18.7%
4	小樽・朝里川温泉	15.0%
5	富良野	13.9%

【函館居住者】（n=156）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	69.9%
2	函館・湯の川温泉	23.7%
3	ニセコ・倶知安・ルスツ・真狩・京極	20.5%
4	小樽・朝里川温泉	16.7%
5	洞爺湖温泉	16.0%

【帯広居住者】（n=126）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	69.8%
2	釧路	23.0%
3	旭川	19.0%
4	帯広	18.3%
4	十勝川温泉	18.3%
4	阿寒湖温泉	18.3%

【釧路居住者】（n=127）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	64.6%
2	阿寒湖温泉	30.7%
3	帯広	28.3%
4	知床	18.9%
5	川湯・屈斜路	18.1%

【北見居住者】（n=120）

順位	旅行先エリア	行った人の割合
1	札幌	69.2%
2	旭川	26.7%
3	帯広	25.0%
4	網走・大空・美幌	22.5%
5	釧路	19.2%